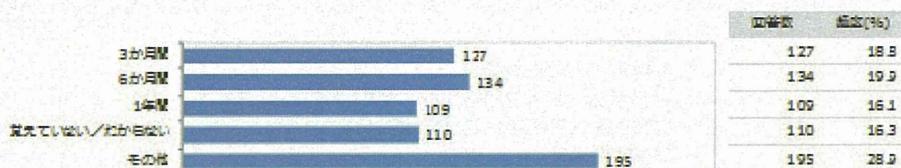


c. 初回治療期間

図表 6(1)c-1 初回治療期間(B-3)

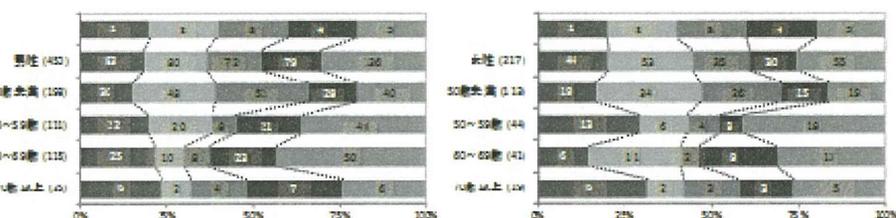
B-3 1 回目の治療のときのインターフェロンの投与期間についてお伺いします。現在治療中の方は、予定の投与期間をお答えください。(単一回答) 調査対象数727 (有効回答数675,無回答52) 有効回答率92.8%



図表 6(1)c-2 初回治療期間(B-3)×年齢・性別(H-1, H-2)

B-3 1 回目の治療のときのインターフェロンの投与期間についてお伺いします。現在治療中の方は、予定の投与期間をお答えください。(単一回答)

	1 2 3 4 5					覚えていない/わかりません		
	2ヶ月間	3ヶ月間	1年間	覚えていない/わかりません	その他	調査対象数	男性	女性
TOTAL	127 (19%)	134 (20%)	107 (16%)	109 (16%)	195 (29%)	715	43	271
男性 (43)	20 (47%)	40 (93%)	52 (120%)	28 (65%)	40 (93%)	204	0	100
50歳未満 (149)	22 (15%)	30 (20%)	8 (5%)	21 (14%)	40 (27%)	115	2	103
50～59歳 (111)	23 (21%)	10 (9%)	8 (7%)	23 (21%)	50 (45%)	128	15	113
60～69歳 (115)	5 (4%)	2 (2%)	4 (3%)	7 (6%)	5 (4%)	25	2	23
70歳以上 (42)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0	0	0
女性 (271)	44 (16%)	52 (19%)	25 (9%)	20 (7%)	55 (20%)	259	24	235
50歳未満 (112)	10 (9%)	34 (30%)	28 (25%)	18 (16%)	10 (9%)	104	2	102
50～59歳 (44)	13 (30%)	5 (11%)	4 (9%)	3 (7%)	19 (43%)	42	1	41
60～69歳 (41)	5 (12%)	11 (27%)	2 (5%)	9 (22%)	13 (32%)	28	3	25
70歳以上 (24)	0 (0%)	2 (8%)	2 (8%)	2 (8%)	2 (8%)	25	0	25

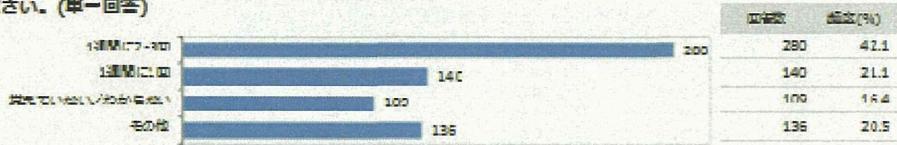


1 回目のインターフェロン治療の投与期間について尋ねたところ、有効回答者の 19.9%は「6ヶ月間」と回答している。次いで、「3ヶ月間」が 18.8%となっている。また、「1年間」は 16.1%であった。「その他」には、1ヶ月間以下というコメントが多かった(図表 6(1)c-1)。性別で有意差は見られず。年齢別には、男女ともに、「6ヶ月間」、「1年間」が 50 歳未満に多かった(図表 6(1)c-2)。

図表 6(1)c-3 初回治療間隔(B-4)

B-4 1回目の治療のときのインターフェロンの投与間隔(注射を打つ間隔)についてお伺いします。現在治療中の方は、現在の投与間隔をお答えください。(単一回答)

調査対象数727(有効回答数565/調査率77.7%)  
有効回答率91.5%

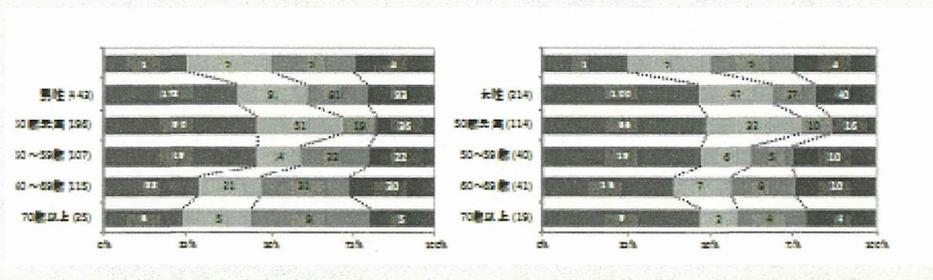


図表 6(1)c-4 初回治療間隔(B-4)×年齢・性別(H-1,H-2)

B-4 1回目の治療のときのインターフェロンの投与間隔(注射を打つ間隔)についてお伺いします。現在治療中の方は、現在の投与間隔をお答えください。(単一回答)

	1 2 3 4				お伺いした質問事項と回答に関する詳細		
	1週間以上2-3回	1週間に1回	覚えていない/わからない	その他	調査対象数	男性	女性
<b>TOTAL</b>	278 (21.2)	138 (21.0)	108 (14.4)	136 (20.2)	716	329	387
<b>男性</b>	178 (20.2)	91 (20.5)	81 (18.2)	96 (21.0)	478	235	443
50歳未満	90 (21.5)	51 (26.0)	19 (5.7)	38 (11.4)	204	9	195
50~59歳	40 (21.4)	14 (12.1)	22 (20.4)	21 (20.4)	114	0	114
60~69歳	33 (21.7)	21 (18.2)	31 (27.0)	30 (26.1)	121	16	105
70歳以上	8 (24.0)	5 (20.0)	9 (36.0)	5 (20.0)	28	3	25
<b>女性</b>	100 (21.7)	47 (21.0)	27 (12.4)	40 (18.7)	238	24	214
50歳未満	58 (21.1)	32 (21.1)	10 (11.0)	16 (11.4)	118	4	114
50~59歳	19 (27.5)	8 (12.0)	5 (7.5)	11 (16.0)	45	5	40
60~69歳	16 (22.0)	7 (9.7)	8 (10.8)	10 (13.4)	50	9	41
70歳以上	0 (0.0)	2 (27.0)	4 (53.0)	4 (53.0)	7	0	7

男性年齢 ( $\chi^2=22.2, df=3, p<0.0001$ ) 女性年齢 ( $\chi^2=12.1, df=3, p<0.0101$ ) 性別 ( $\chi^2=4.8, df=1, p<0.107$ )



1回目のインターフェロン治療の投与間隔について尋ねたところ、有効回答者の42.1%が「1週間に2-3回」と回答している。次いで「1週間に1回」が21.2%となっている(図表6(1)c-3)。男女別に有意差は見られず。年齢別に見ると、女性は有意差が見られなかった。男性は、高齢ほど覚えていないことが多い。また、「1週間に2-3回」は60代が少なく、「1週間に1回」50代が少ない(図表6(1)c-4)。

d. 治療期間短縮

図表 6(1)d-1 IFN 期間短縮(B-5)

B-5 インターフェロン治療が終了した方にお伺いします。治療期間は予定されていたよりも短くなりましたか。(単一回答)

調査対象数518(有効回答数363/調査率70.1%)  
有効回答率89.2%

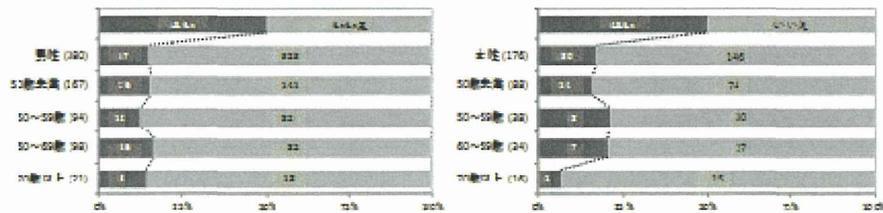


図表 6(1)d-2 IFN 期間短縮(B-5)×年齢・性別(H-2)

B-5 インターフェロン治療が終了した方にお伺いします。  
治療期間は予定されていたよりも短くなりましたか。(単一回答)

	1		2		注:1)コホート有効回答数を分母とする集計		
	はい	いいえ	調査対象数	無回答	有効回答	割合(%)	
TOTAL	37 (13.6)	469 (86.4)	506	70	533		
男性	37 (12.0)	322 (88.0)	433	49	383		
50歳未満	26 (13.6)	141 (86.4)	175	9	167		
50~59歳	12 (12.8)	82 (87.2)	104	10	94		
60~69歳	16 (16.3)	82 (83.7)	123	25	98		
70歳以上	8 (14.3)	48 (85.7)	56	4	52		
女性	30 (17.0)	146 (83.0)	201	25	176		
50歳未満	14 (15.0)	74 (85.0)	98	5	93		
50~59歳	8 (11.0)	60 (89.0)	78	2	76		
60~69歳	7 (10.6)	57 (89.4)	64	10	54		
70歳以上	1 (5.0)	19 (95.0)	24	0	24		

男性年齢( $\chi^2=0.6$ ,  $p=0.907$ )・女性年齢( $\chi^2=1.1$ ,  $p=0.545$ )・性別( $\chi^2=0.4$ ,  $p=0.527$ )

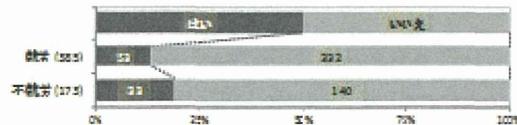


図表 6(1)d-3 IFN 期間短縮(B-5)×就労(H-4)

B-5 インターフェロン治療が終了した方にお伺いします。  
治療期間は予定されていたよりも短くなりましたか。(単一回答)

	1		2		注:1)コホート有効回答数を分母とする集計		
	はい	いいえ	調査対象数	無回答	有効回答	割合(%)	
TOTAL	33 (13.4)	412 (86.6)	501	70	533		
就労	33 (13.8)	332 (86.2)	425	41	385		
不就労	33 (19.1)	140 (80.9)	205	32	173		

$\chi^2=0.0$ ,  $p=0.100$



インターフェロン治療が終了した方へ、治療期間について尋ねたところ、有効回答者の 15.5%が短くなったと回答している(図表 6(1)d-1)。年齢・性別・就労/不就労による有意差は見られなかった(図表 6(1)d-2)(図表 6(1)d-3)。

e. 再治療

図表 6(1)e-1 IFN 再治療(B-2)

B-2 投与期間(注射を打っている期間)3か月以上の継続したインターフェロン治療を、2回以上(現在治療中の方はそれも含まず)受けたことがありますか。(単一回答)

調査対象数727(有効回答数511無回答216)  
有効回答率95.2%

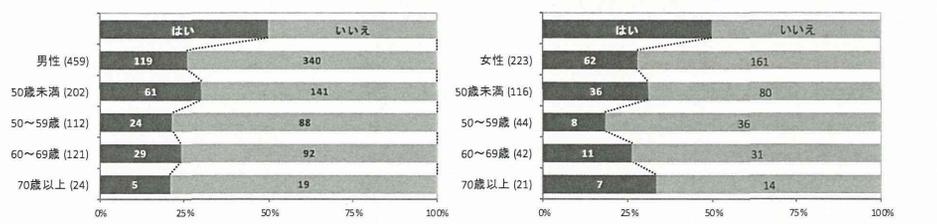


図表 6(1)e-2 IFN 再治療(B-2)×年齢・性別(H-1,H-2)

B-2 投与期間(注射を打っている期間)3か月以上の継続したインターフェロン治療を、2回以上(現在治療中の方はそれも含みます)受けたことがありますか。(単一回答)

	1		2		※カッコ内は有効回答数を分母とする頻度		
	はい	いいえ	調査対象数	無回答	有効回答		
TOTAL	181	501	716	34	682		
男性	119	340	478	19	459		
50歳未満	61	141	204	2	202		
50~59歳	24	88	115	3	112		
60~69歳	29	92	131	10	121		
70歳以上	5	19	28	4	24		
女性	62	161	238	15	223		
50歳未満	36	80	118	2	116		
50~59歳	8	36	45	1	44		
60~69歳	11	31	50	8	42		
70歳以上	7	14	25	4	21		

男性年齢(χ<sup>2</sup>=3.7, df=3, p=0.300)・女性年齢(χ<sup>2</sup>=3.0, df=3, p=0.391)・性別(χ<sup>2</sup>=0.3, df=1, p=0.603)

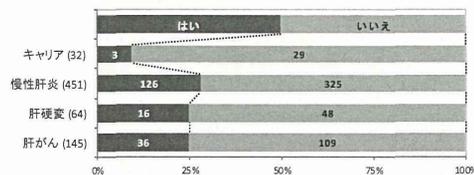


図表 6(1)e-3 IFN 再治療(B-2)×病態

B-2 投与期間(注射を打っている期間)3か月以上の継続したインターフェロン治療を、2回以上(現在治療中の方はそれも含みます)受けたことがありますか。(単一回答)

	1		2		※カッコ内は有効回答数を分母とする頻度		
	はい	いいえ	調査対象数	無回答	有効回答		
TOTAL	181	511	727	35	692		
キャリア	3	29	36	4	32		
慢性肝炎	126	325	488	17	451		
肝硬変	16	48	68	4	64		
肝がん	36	109	155	10	145		

χ<sup>2</sup>=5.6, df=3, p=0.134

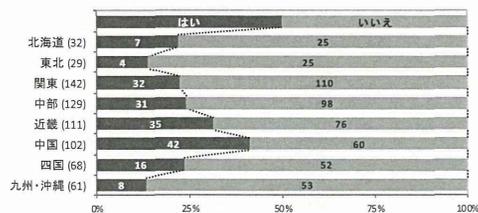


図表 6(1)e-4 IFN 再治療(B-2)×地域(H-3)

B-2 投与期間(注射を打っている期間)3か月以上の継続したインターフェロン治療を、2回以上(現在治療中の方はそれも含みます)受けたことがありますか。(単一回答)

	1		2		※カッコ内は有効回答数を分母とする頻度		
	はい	いいえ	調査対象数	無回答	有効回答		
TOTAL	175	499	707	33	674		
北海道	7	25	34	2	32		
東北	4	25	32	3	29		
関東	32	110	149	7	142		
中部	31	98	137	8	129		
近畿	35	76	112	1	111		
中国	42	60	110	8	102		
四国	16	52	70	2	68		
九州・沖縄	8	53	63	2	61		

χ<sup>2</sup>=23.2, df=7, p=0.002



図表 6(1)e-5 IFN 再治療(B-2-1)

B-2-1 はいの場合、2回目のインターフェロン治療を受けたのは何歳頃ですか。(数値回答)

調査対象数181(有効回答数172,無回答9)  
有効回答率95.0%



インターフェロン治療の複数経験について尋ねたところ、26.2%は複数経験があると回答している(図表 6(1)e-1)。性別・年齢・病態による有意差は見られなかった(図表 6(1)e-2, 図表 6(1)e-3)。地域別には、中国で多く、九州・沖縄で少ない(図表 6(1)e-4)。インターフェロン治療を複数経験したと回答している方へ、2回目のインターフェロン治療を受けた年齢を尋ねたところ、有効回答者の44.8%が30代となっている。次いで40代が21.5%となっている(図表 6(1)e-5)。

f. シーケンシャル療法

図表6(1)f-1 連続治療(B-f)

B-f インターフェロンの治療と、内服の抗ウイルス剤(ゼフィックス、ヘプセラ、またはバラクルード)の服薬期間が重なったか、または連続したことはありますか。(単一回答)

調査対象数727(有効回答数566(回答率77.7%)  
有効回答率90.2%

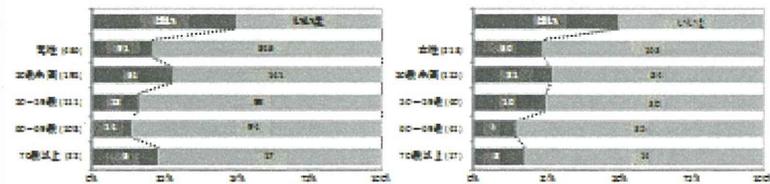


図表6(1)f-2 連続治療(B-f)×年齢・性別(H-1,H-2)

B-f インターフェロンの治療と、内服の抗ウイルス剤(ゼフィックス、ヘプセラ、またはバラクルード)の服薬期間が重なったか、または連続したことはありますか。(単一回答)

TOTAL	1		2		調査対象者(年齢別)		
	はい	いいえ	はい	いいえ	調査対象数	割合	有効回答
TOTAL	141 (21.7)	515 (78.3)	141	515	715	87	642
男性	91 (20.9)	345 (79.1)	475	42	408	42	408
50歳未満	64 (21.7)	236 (78.3)	304	0	108	0	108
50-59歳	18 (24.2)	58 (75.8)	115	4	111	4	111
60-69歳	14 (21.0)	54 (79.0)	121	23	108	23	108
70歳以上	8 (21.7)	29 (78.3)	20	0	22	0	22
女性	50 (21.5)	183 (78.5)	239	25	212	25	212
50歳未満	31 (21.0)	114 (79.0)	119	3	115	3	115
50-59歳	10 (24.0)	32 (76.0)	65	5	40	5	40
60-69歳	6 (24.4)	19 (75.6)	40	0	41	0	41
70歳以上	3 (21.4)	11 (78.6)	25	0	17	0	17

男性年齢( $\chi^2=11.1, df=3, p<0.011$ )・女性年齢( $\chi^2=2.3, df=3, p=0.521$ )・性別( $\chi^2=0.6, df=1, p=0.430$ )

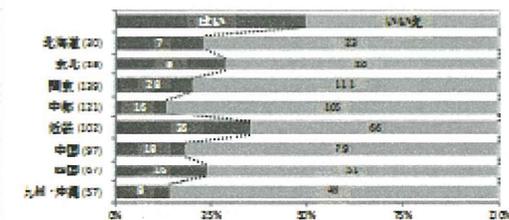


図表6(1)f-3 連続治療(B-f)×地域(H-3)

B-f インターフェロンの治療と、内服の抗ウイルス剤(ゼフィックス、ヘプセラ、またはバラクルード)の服薬期間が重なったか、または連続したことはありますか。(単一回答)

TOTAL	1		2		調査対象者(年齢別)		
	はい	いいえ	はい	いいえ	調査対象数	割合	有効回答
TOTAL	141 (21.4)	504 (78.6)	141	504	707	86	641
北海道	7 (23.3)	23 (76.7)	34	4	30	4	30
東北	8 (25.6)	24 (74.4)	32	4	28	4	28
関東	28 (20.1)	111 (79.9)	149	10	139	10	139
中部	16 (13.2)	105 (86.8)	137	16	121	16	121
近畿	6 (24.3)	19 (75.7)	42	10	40	10	40
中国	18 (18.6)	79 (81.4)	110	13	97	13	97
四国	16 (29.0)	41 (71.0)	70	3	67	3	67
九州・沖縄	8 (14.0)	49 (86.0)	68	6	62	6	62

$\chi^2=20.1, df=7, p<0.005$



インターフェロン治療と核酸アナログ製剤の治療期間が重複、もしくは連続したことがあるか尋ねたところ、有効回答者の21.5%は治療期間が重複、もしくは連続したと回答している(図表6(1)f-1)。性別による有意差はない。年齢別には、女性は有意差がないが、男性は50歳未満で多く60代で少ない(図表6(1)f-2)。地域別に見ると、近畿が多く、中部が少ない(図表6(1)f-3)。

g. 自己注射

図表 6(1)g-1 自己注射(B-7)

B-7 インターフェロンの自己注射を勧められたことはありませんか。  
(単一回答)

調査期間: 2021/2/27 (1970名/162071) 1970名/99.9%  
有効回答率: 92.3%

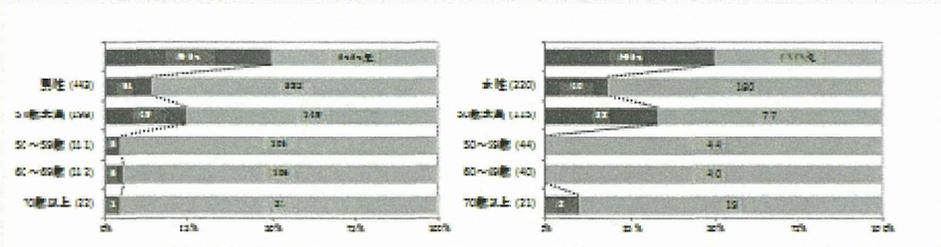


図表 6(1)g-2 自己注射(B-7)×年齢・性別(H-1,H-2)

B-7 インターフェロンの自己注射を勧められたことはありませんか。(単一回答)

	1		2		2021年以内の有効回答数を分母とする割合		
	はい	いいえ	はい	いいえ	調査対象数	自己回答	否回答
TOTAL	101 (15.1)	569 (84.9)	716	254	970	30	940
男性	81 (13.9)	509 (86.1)	470	25	495	6	489
50歳未満	49 (9.7)	470 (90.3)	204	0	204	0	204
50～59歳	5 (5.0)	95 (95.0)	118	4	122	4	118
60～69歳	8 (5.4)	138 (94.6)	121	12	133	12	121
70歳以上	1 (4.3)	21 (55.7)	28	8	36	8	28
女性	40 (15.3)	260 (84.7)	236	129	365	24	341
50歳未満	38 (23.0)	122 (77.0)	118	2	120	2	118
50～59歳	0 (0.0)	44 (100.0)	48	1	49	1	48
60～69歳	0 (0.0)	40 (100.0)	50	10	60	10	50
70歳以上	2 (9.1)	18 (90.9)	28	4	32	4	28

男性年齢:  $\chi^2=28.4, df=4, p<0.000$  女性年齢:  $\chi^2=28.3, df=4, p<0.000$  性別:  $\chi^2=2.2, df=1, p<0.137$

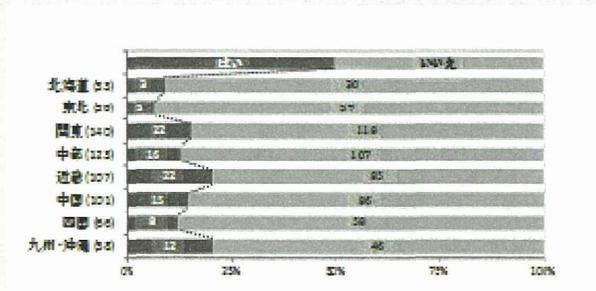


図表 6(1)g-3 自己注射(B-7)×地域(H-3)

B-7 インターフェロンの自己注射を勧められたことはありませんか。(単一回答)

	1		2		2021年以内の有効回答数を分母とする割合		
	はい	いいえ	はい	いいえ	調査対象数	自己回答	否回答
TOTAL	100 (15.1)	567 (84.9)	707	30	737	30	707
北海道	3 (9.1)	30 (90.9)	34	1	35	1	34
東北	2 (6.0)	27 (94.0)	32	3	35	3	32
関東	22 (15.7)	118 (84.3)	148	9	157	9	148
中部	18 (13.4)	107 (86.6)	127	14	141	14	127
近畿	22 (20.6)	85 (79.4)	112	5	117	5	112
中国	13 (14.3)	80 (85.7)	110	5	115	5	110
四国	8 (12.1)	58 (87.9)	70	4	74	4	70
九州・沖縄	12 (20.0)	46 (80.0)	60	2	62	2	60

$\chi^2=1.2, df=7, p=0.406$



図表 6(1)g-4 自己注射(B-7-1)

B-7-1 はいの場合、自己注射を行いましたか。(単一回答)

有効回答数101 (有効回答率100.0%)  
無効回答数0 (無効回答率0.0%)

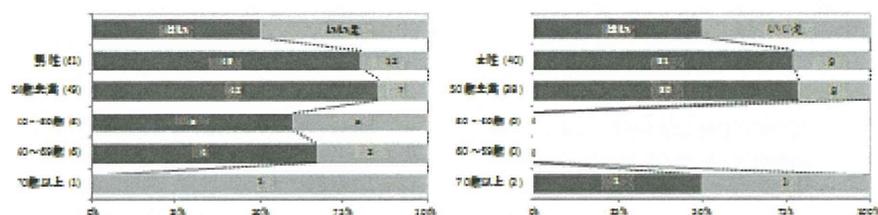


図表 6(1)g-5 自己注射(B-7-1)×年齢・性別(H-1,H-2)

B-7-1 はいの場合、自己注射を行いましたか。(単一回答)

	年齢		性別		
	1	2	1	2	3
TOTAL	80 (79.2)	21 (20.8)	101	0	101
男性	45 (83.7)	12 (16.7)	01	0	01
50歳未満	42 (83.7)	7 (14.3)	40	0	40
50～59歳	3 (6.0)	7 (9.0)	1	0	1
60～69歳	4 (8.0)	2 (3.3)	6	0	6
70歳以上	0 (0.0)	1 (100.0)	1	0	1
女性	31 (77.5)	9 (22.5)	40	0	40
50歳未満	30 (75.0)	8 (20.0)	38	0	38
50～59歳	0 (-)	0 (-)	0	0	0
60～69歳	0 (-)	0 (-)	0	0	0
70歳以上	1 (100.0)	1 (100.0)	1	0	1

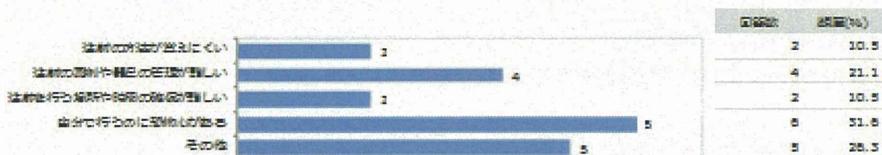
注:0/0



図表 6(1)g-6 自己注射(B-7-2)

B-7-2 いいえの場合、勧められても自己注射を行わなかった理由を教えてください。(単一回答)

有効回答数21 (有効回答率100.0%)  
無効回答数0 (無効回答率0.0%)



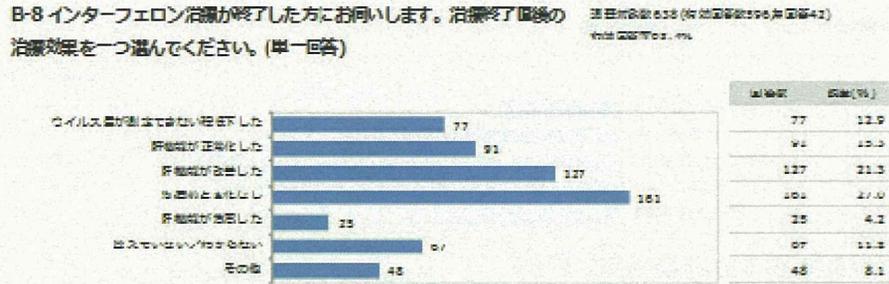
インターフェロン治療の自己注射を勧められたか尋ねたところ、有効回答者の15.1%は勧められたことがあると回答している(図表6(1)g-1)。男女別に有意差はないが、年齢別には、男女ともに50歳未満が多い(図表6(1)g-2)。地域別の有意差は見られなかった(図表6(1)g-3)。

インターフェロン治療の自己注射を勧められた回答者のうち、有効回答者の79.2%は自己注射を行ったことがあると回答している(図表6(1)g-4)。nが少ないため、性別・年齢・地域で比較することはできない(図表6(1)g-5)(地域は図表非掲載)。就労/不就労による有意差は見られなかった(図表非掲載)。

インターフェロン治療の自己注射を勧められても行わなかった回答者に理由を尋ねたところ、有効回答者の31.6%は「自分で行うのに恐怖心がある」と回答している。次いで、「注射の薬剤や器具の管理が難しい」が21.1%となっている。また、26.3%は「その他」と回答している。「その他」に偏ったコメントはなかった(図表6(1)g-6)。

h. 治療効果

図表 6(1)h-1 IFN 効果(B-8)

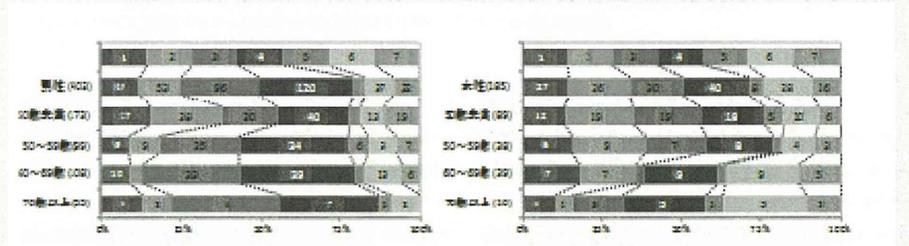


図表 6(1)h-2 IFN 効果(B-8) × 年齢・性別(H-1,H-2)

B-8 インターフェロン治療が終了した方にお伺いします。(治療中の方はB-10へ)治療終了直後の治療効果一つを選んでください。(単一回答)

	治療効果							注 回答数		
	1 ウイルス量が測定できないほど低下した	2 肝機能が正常化した	3 肝機能が改善した	4 治療前と変化なし	5 肝機能が悪化した	6 出先ではない/わからない	7 その他	回答数	割合	割合
TOTAL	77 (12.3%)	91 (15.3%)	127 (21.3%)	161 (27.0%)	25 (4.2%)	67 (11.2%)	45 (7.1%)	596	93.4%	27.0%
男性	49 (12.3%)	51 (12.8%)	98 (24.5%)	120 (30.2%)	18 (4.5%)	27 (6.8%)	22 (5.6%)	397	93.4%	24.5%
女性	28 (12.3%)	40 (17.0%)	29 (12.5%)	41 (17.5%)	7 (3.0%)	40 (17.0%)	23 (9.8%)	229	93.4%	17.0%
50歳未満	9 (12.3%)	3 (3.5%)	25 (32.3%)	34 (43.8%)	6 (7.7%)	9 (11.5%)	7 (8.9%)	73	93.4%	32.3%
50～59歳	10 (12.3%)	4 (5.0%)	23 (28.8%)	39 (49.4%)	3 (3.8%)	13 (16.5%)	6 (7.5%)	81	93.4%	28.8%
60～69歳	3 (12.3%)	2 (2.5%)	9 (11.3%)	7 (8.8%)	1 (1.3%)	2 (2.5%)	0 (0.0%)	24	93.4%	11.3%
70歳以上	17 (12.3%)	22 (27.5%)	20 (25.3%)	40 (50.6%)	5 (6.3%)	20 (25.3%)	8 (10.1%)	137	93.4%	50.6%
50歳未満	12 (12.3%)	13 (16.3%)	19 (23.8%)	18 (22.5%)	5 (6.3%)	10 (12.5%)	6 (7.5%)	93	93.4%	23.8%
50～59歳	8 (12.3%)	3 (3.8%)	7 (8.8%)	9 (11.3%)	1 (1.3%)	4 (5.0%)	3 (3.8%)	65	93.4%	8.8%
60～69歳	7 (12.3%)	7 (8.8%)	1 (1.3%)	3 (3.8%)	1 (1.3%)	3 (3.8%)	2 (2.5%)	56	93.4%	3.8%
70歳以上	2 (12.3%)	1 (1.3%)	2 (2.5%)	5 (6.3%)	1 (1.3%)	5 (6.3%)	2 (2.5%)	24	93.4%	6.3%

男性年齢別 (%) 女性年齢別 (%)



図表 6(1)h-3 IFN 効果(B-8) × 病態

B-8 インターフェロン治療が終了した方にお伺いします。(治療中の方はB-10へ)治療終了直後の治療効果一つを選んでください。(単一回答)

	治療効果							注 回答数		
	1 ウイルス量が測定できないほど低下した	2 肝機能が正常化した	3 肝機能が改善した	4 治療前と変化なし	5 肝機能が悪化した	6 出先ではない/わからない	7 その他	回答数	割合	割合
TOTAL	77 (12.3%)	91 (15.3%)	127 (21.3%)	161 (27.0%)	25 (4.2%)	67 (11.2%)	45 (7.1%)	638	93.4%	27.0%
キャリア	3 (3.8%)	5 (6.3%)	4 (5.0%)	3 (3.8%)	0 (0.0%)	3 (3.8%)	4 (5.0%)	24	93.4%	3.8%
慢性肝炎	39 (12.3%)	71 (11.3%)	82 (12.5%)	91 (13.8%)	17 (2.5%)	29 (4.3%)	28 (4.1%)	317	93.4%	11.3%
肝硬変	3 (3.8%)	2 (2.5%)	17 (21.3%)	17 (21.3%)	5 (6.3%)	3 (3.8%)	3 (3.8%)	54	93.4%	21.3%
肝がん	12 (12.3%)	10 (10.1%)	24 (23.8%)	50 (48.8%)	6 (5.8%)	24 (23.3%)	8 (7.7%)	134	93.4%	48.8%

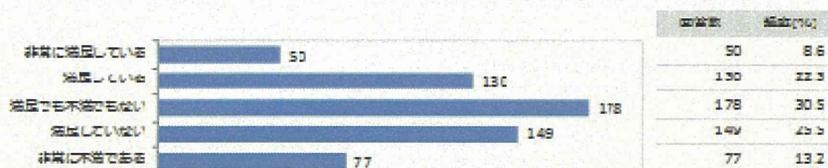
インターフェロン治療が終了した方へ、治療の効果について尋ねたところ、有効回答者の 27.0%が「治療前と変化なし」と回答している、次いで「肝機能が改善した」が 21.3%となっている(図表 6(1)h-1)。性別で見ると、「肝機能が正常化した」は女性が多く、「肝機能が改善した」「治療前と変化なし」は男性が多かった。年齢別には、男性の場合、「肝機能が正常化した」が若年ほど多い傾向が見られた。女性は年齢による有意差がなかった(図表 6(1)h-2)。病態別には、「ウイルス量が測定できないほど低下した」「肝機能が正常化した」は慢性肝炎に多く、「治療前と変化なし」は肝がんが多かった(図表 6(1)h-3)。

i. 治療満足度

図表 6(1)-1 IFN 効果満足度(B9)

B-9 インターフェロン治療が終了した方にお伺いします。治療効果に、どの程度満足していますか。(単一回答)

回答対象数639 (有効回答数594,無回答54)  
有効回答率91.5%

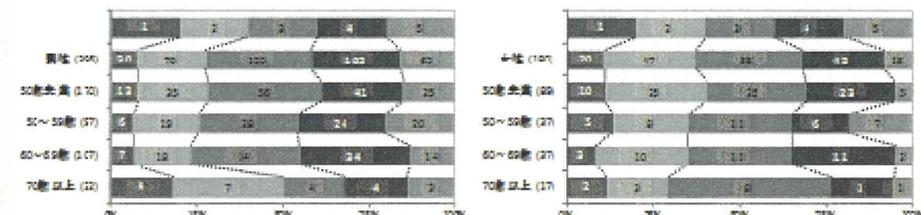


図表 6(1)-2 IFN 効果満足度(B9)×年齢・性別(F-1,H2)

B-9 インターフェロン治療が終了した方にお伺いします。治療効果に、どの程度満足していますか。(単一回答)

	1					2		3		4		5		※この内は有効回答数を分母とする構成		
	非常に満足している	満足している	満足でも不満でもない	満足していない	非常に不満である	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数
TOTAL	50 (8.7)	130 (22.0)	177 (30.7)	148 (25.8)	77 (13.4)	629	50	578								
男性	50 (7.8)	70 (10.8)	122 (20.0)	100 (16.0)	62 (9.7)	420	62	358								
50歳未満	13 (7.6)	32 (20.8)	56 (32.0)	41 (24.1)	25 (14.7)	176	6	170								
50～59歳	6 (8.2)	16 (19.8)	29 (34.0)	24 (24.7)	20 (20.0)	164	7	157								
60～69歳	7 (8.5)	16 (16.8)	34 (31.8)	34 (31.8)	14 (13.0)	123	16	107								
70歳以上	4 (18.2)	7 (31.8)	4 (18.2)	4 (18.2)	3 (13.8)	25	3	22								
女性	20 (11.1)	47 (26.1)	55 (30.8)	48 (23.0)	15 (8.0)	201	21	180								
50歳未満	10 (11.2)	26 (29.2)	25 (28.1)	23 (23.8)	5 (5.6)	98	4	94								
50～59歳	5 (13.5)	6 (21.6)	11 (29.7)	6 (16.2)	7 (18.0)	40	4	37								
60～69歳	3 (8.1)	10 (27.0)	11 (29.7)	11 (29.7)	2 (5.4)	44	1	43								
70歳以上	2 (11.8)	3 (17.6)	6 (47.0)	3 (17.6)	1 (5.0)	24	1	23								

男性年齢( $\chi^2=11.6$ ,  $df=2$ ,  $p=0.475$ )・女性年齢( $\chi^2=1.4$ ,  $df=2$ ,  $p=0.493$ )・性別( $\chi^2=0.1$ ,  $df=4$ ,  $p=0.958$ )

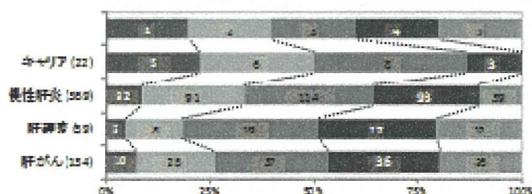


図表 6(1)-3 IFN 効果満足度(B9)×病態

B-9 インターフェロン治療が終了した方にお伺いします。治療効果に、どの程度満足していますか。(単一回答)

	1					2		3		4		5		※この内は有効回答数を分母とする構成		
	非常に満足している	満足している	満足でも不満でもない	満足していない	非常に不満である	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数
TOTAL	50 (8.6)	130 (22.3)	178 (30.5)	148 (25.5)	77 (13.0)	629	54	575								
キャリア	5 (22.7)	8 (27.3)	8 (26.4)	3 (13.6)	0 (0.0)	35	13	22								
慢性肝炎	32 (8.7)	91 (24.7)	114 (30.8)	93 (23.2)	35 (9.0)	390	27	363								
肝硬変	3 (8.1)	6 (13.6)	19 (32.2)	17 (28.8)	12 (20.0)	66	7	59								
肝がん	10 (7.4)	23 (18.7)	27 (27.4)	28 (28.0)	26 (26.0)	144	7	137								

$\chi^2=23.5$ ,  $df=2$ ,  $p=0.024$

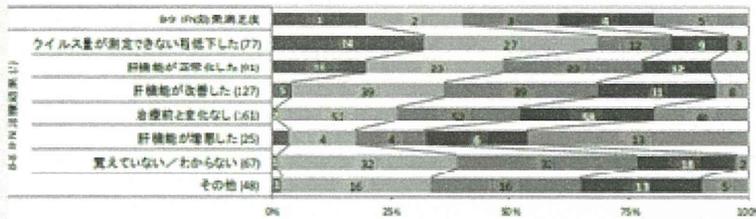


図表 6(1)i-4 IFN 効果満足度 × IFN 効果

B-9 インターフェロン治療が終了した方にお伺いします。治療効果に、どの程度満足していますか。(単一回答) (注)カッコ内は有効回答数を百分とする結果

	非常に満足している	満足している	満足でも不満でもない	満足していない	非常に不満である	調査対象数	割合等	有効回答
TOTAL	80 (34)	183 (36)	178 (29)	147 (24)	77 (12)	610	14	396
ウイルス量が測定できない/低下した	24 (32)	27 (39)	12 (15)	9 (11)	3 (3)	79	2	77
肝機能が正常化した	16 (26)	23 (35)	23 (35)	12 (17)	6 (8)	60	1	61
肝機能が改善した	5 (3)	39 (27)	39 (30)	31 (24)	8 (5)	128	1	127
治療前と変化なし	2 (1)	52 (32)	52 (32)	58 (36)	40 (24)	165	4	161
肝機能が増悪した	1 (1)	4 (4)	4 (4)	6 (6)	13 (13)	28	0	25
覚えていない/わからない	1 (1)	32 (47)	32 (47)	18 (26)	2 (3)	70	3	67
その他	1 (1)	16 (33)	16 (33)	13 (27)	5 (10)	51	3	48

$\chi^2=183.6, df=28, p<0.000$



インターフェロン治療が終了した方へ、治療効果にどの程度満足しているか尋ねたところ、有効回答者の 30.5% が「満足でも不満でもない」と回答している。次いで、「満足していない」が 25.5%となっている(図表 6(1)i-1)。性別・年齢による有意差は見られなかった(図表 6(1)i-2)。病態別には、「非常に不満」が肝がんによく、慢性肝炎には少なかった(図表 6(1)i-3)。インターフェロンの治療効果別に見ると、効果が大きいほど「非常に満足している」、「満足している」が増える傾向が見られた(図表 6(1)i-4)

インターフェロン治療に対する医師の説明を十分と感じられたかどうかで見ると、十分と感じた人ほど「非常に満足している」、「満足している」が多い。また、インターフェロン治療中に感じた不安別では、インターフェロンの効果が不明であることに不安を感じている人は、「満足していない」、「非常に不満」が多い。また、現在および過去の治療経験別に見ると、核酸アナログ治療または強力ミノファージェン C による治療を受けたことがある人は、インターフェロン治療に関しては「満足していない」、「非常に不満」が多い。肝炎助成制度の利用状況別に見ると、肝炎助成制度を利用している人は「非常に満足している」、「満足している」が多い(図表非掲載)。